



#### 当行のプロフィール

名 称／株式会社京葉銀行	従 業 員／2,085名	拠 点／店舗 122ヵ店
英 文 名 称／The Keiyo Bank, Ltd.	総 資 産／4兆7,852億円	(本支店：120ヵ店 出張所：2ヵ店)
設 立／1943年3月31日	預 金／4兆4,215億円	外貨両替出張所 4ヵ所
資 本 金／497億円	貸 出 金／3兆4,543億円	店舗外ATMコーナー 163ヵ所
本 店／千葉市中央区富士見1丁目11番11号	自己資本比率／単体 10.95% (国内基準) 連結 10.98%	(2018年7月12日現在)
千葉みなと本部／千葉市中央区千葉港5番45号	格 付／A-(S&Pグローバル・レーティング) A+(株式会社日本格付研究所)	
	(2018年3月31日現在)	

## Contents

第18次中期経営計画	2	お客さまに寄り添った営業の実践	11	企業価値の向上に向けて	23
トップメッセージ	3	オムニチャネルの構築	19	配当金・株主優待制度のご案内	37
業績推移(単体情報)	5	全従業員が活躍する プロフェッショナル集団への変革	21	コーポレートデータ	39
持続可能な社会に向けて	9	ローコストオペレーションと利益拡大	22	店舗地図	50

## 第18次中期経営計画

# ⌘ ACTION PLAN 2021

～ さらなる飛躍 ～

計画期間 2018年4月～2021年3月

基本方針(スローガン) | 「お客さま・従業員の満足度No.1の銀行」

### 基本戦略

- 1 お客さまに寄り添った営業の実践**  
事業性評価による中小企業向け貸出強化  
ソリューションビジネスの強化  
住宅ローンビジネス・資産形成ビジネス・相続ビジネスの展開
- 2 オムニチャネルの構築**  
次世代型店舗等の対面チャネルの充実  
ICTを活用した非対面サービスの強化
- 3 全従業員が活躍するプロフェッショナル集団への変革**  
多様なキャリア形成・能力開発への取り組み  
働き方改革の推進
- 4 ローコストオペレーションと利益拡大**  
BPRとデジタル化の推進  
営業体制の見直しと成長エリアの強化

### 計数目標

2021年  
3月期

当期純利益  
**150**億円

役務取引等収益  
**150**億円

OHR  
**60**%程度

預金残高  
**5**兆円

貸出金残高  
**4**兆円

目指す  
銀行像

お客さまに信頼と利便性、高い満足度を提供する魅力のある、活力あふれる銀行





平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、「2018京葉銀行レポート」を作成いたしましたので、ご案内申し上げます。ご高覧のうえ当行に対するご理解を深めていただければ幸いです。

日本経済は、緩やかな回復基調が続いている一方、長期的には人口減少や少子高齢化といった構造的な変化が一段と進展しており、地域金融機関には、金融仲介機能を発揮し、地域経済の活性化にさらに関与していくことが求められております。

このような環境下、当行は、2018年4月より3年間を計画期間とする第18次中期経営計画「 $\alpha$  ACTION PLAN 2021」をスタートさせました。計画の基本方針に『お客さま・従業員の満足度No.1の銀行』を掲げ、以下の4つの基本戦略に取り組むことで、当行は「さらなる飛躍」を実現してまいります。

## お客さまに寄り添った営業の実践

経営者との対話による事業性評価を通じ、融資や企業の生産性向上に向けた本業支援への取り組みを強化すべく、本部内に「法人営業部」を新設し、経営課題の解決に向け、より最適なソリューションをご提供できる体制を整えました。また、個人のお客さまには、顧客本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）を一層徹底し、資産形成や相続のサポートを行うべく、「個人営業部」を新設しました。これからも、より付加価値の高いサービスの充実に努めるとともに、お客さまに寄り添った営業を実践してまいります。

## オムニチャネルの構築

お客さまが、いつでも、どこでも、便利で安心、快適なサービスをご利用いただけるよう、非対面チャネルは、情報通信技術（ICT）を積極的に活用したサービスを充実させていくほか、フィンテック分野への取り組みも強化してまいります。また、対面チャネルにおいては、「次世代型店舗」を順次展開しており、お客さまに便利にご利用いただける環境を構築するとともに、より深いご相談ができるコンサルティングの場へと変革させてまいります。

## 全従業員が活躍するプロフェッショナル集団への変革

常にお客さまへ「プラスアルファ」の付加価値を提供できるよう、多様なキャリア形成と、それぞれの行員に見合った能力開発や評価・報酬制度を確立するとともに、ダイバーシティの推進による活躍支援を進め、広範囲な知識や技術、経験を持つ「人財」に加えて、プロフェッショナルな「人財」の育成に努めてまいります。また、「働き方改革」では、従業員のワークライフバランスの促進とともに、業務の見直し等を行うことで、生産性向上に取り組んでまいります。

## ローコストオペレーションと利益拡大

お客さま目線の営業を重視しつつ、競争力を一層高めるために、「業務効率化」（BPR）を行い、ローコストオペレーションを推進してまいります。事務職から営業職への人員転換を進めるとともに、営業体制においてもエリア制を導入するなど、効率的な戦略の展開により利益の拡大につなげることで、当行の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

こうした取り組みに加えて、「環境・社会・ガバナンス」（ESG）の充実と、国連が提唱する「持続可能な開発目標」（SDGs）を意識した経営の実践により、全てのステークホルダーの皆さまのご期待にお応えできるよう、京葉銀行グループの役職員一同全力を尽くしてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年7月